



目 次

第5回特待奨学生表彰（学部・大学院）	学生部長 土井 勝	…1
FD 活動の展開	FD 委員会委員長 高岡 昌徳	…2
ハイテクリサーチセンター整備事業、公開シンポジウム	平成21年度ハイテクリサーチセンター長 石田 寿昌	…3
	創薬基盤科学技術研究センター長 小林 祐次	…4
平成21年度前期授業・実習評価アンケート	教務部長 石田 寿昌	…5
平成21年度公開教育講座を終えて	公開教育講座委員会委員長 掛見 正郎	…8
第28回市民講座（3大学連携事業）を終えて	市民講座委員会委員長 田中 一彦	…8
学生相談室だより「こころの窓」	学生相談室相談員 岡 鈴佳	…10
事務局だより		…11
第44回大薬祭を演じる	学生部長 土井 勝	…21
薬用植物の紹介（チョウセンアサガオ）	薬用植物園長 三野 芳紀	

大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程の設置について

文部科学省に設置届出をしていました、平成22年4月1日開設の大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程（入学定員20名／修業年限2年）について、平成21年9月30日付で設置が認められました。（13ページに関連記事を掲載しています。）

60

学校法人大阪薬科大学には、学部学生と大学院学生を対象に、優れた学業成績または研究成果を挙げた者、あるいは、学術文化の発展、社会活動や学生自治活動等で顕著な功績があったと認められる者を顕彰することを目的に、特待奨学金制度が設けられています。この制度は、本学の創立百周年記念事業の一つとして創設されたものです。

第5回表彰の本年度から、学部学生の表彰制度に見直しがあり、前年度の学業成績により、各年次（1年次を除く）の最優秀者1名、特別優秀者2名、優秀者4名を表彰することに変更されました。大学院学生については、従来どおり、大学院1年次生は大学院入試の成績により上位3名が、大学院2年次と博士後期課程の学生は、研究成果のプレゼンテーションに基づき、大学院委員会が3名の研究成果優秀者を推薦することになっています。

第5回特待奨学生は別表のとおりです。

表彰式は、学部学生と大学院1年次生は5月28日（木）、大学院2年次生と博士後期課程学生は10月29日（木）に行われました。厳粛ながらも和やかなお祝いムードの中で、矢内原理事長から一人一人に奨学金が手渡され、続いて訓辞があり、また、千熊学長からお祝いの言葉が述べられました。

学部学生の本分は勉学に、大学院学生の本分は研究にあることは言うまでもなく、この方面の優秀者が表彰されるのは誠に喜ばしいことです。その一方で、多様な経験を積むことは、人格陶冶の面で、奨励されるべきことです。特待奨学生制度は、冒頭に述べたように、社会活動や学生自治活動などの功績に対しても顕彰することとされています。この方面からの表彰者が出ることを、今後に期待したいものです。

学部学生（最優秀者1名、特別優秀者2名、優秀者4名の順）

2年次：大藤真由子、兼信 侑季、吉田 紗理、西居 祐美、松原 侑紀、堀井 祐衣、松本英理香
 3年次：安達 咲希、湯藤 菜月、吉開 晶一、岩田知可子、小野 朝香、柚山 美希、荻野なおみ
 4年次：小川 智子、林 春菜、堀川 絵里、延命寺麻衣、小山 真季、佐藤 真穂、谷川 真未

大学院学生

1年次：藤沢 淳司、齋藤 慧、寺田 亮
 2年次及び博士後期課程：清水 佐紀、木挽 友博、山口瑛理子



特待奨学生表彰式



成績優秀者特待奨学生



大学院学生による研究成果発表会



研究成果優秀者特待奨学生

最近、学内でよく「FD (エフ・ディ)」という言葉が耳にするようになりました。FD とは Faculty Development (ファカルティ・ディベロップメント) のことであり、二つの単語の頭文字を組み合わせた略語です。それぞれの単語を和訳しますと「Faculty」は「大学教員団」、「Development」は「開発」となり、逐語訳しますと「大学教員団の開発」となりますが、これでは分かりづらいと思います。そこで、これを意識しますと「大学教員の職能開発への組織的取り組み」となります。つまり、FD 活動とは「授業の内容や方法を改善し、向上させるために、教員が組織的に取り組む活動」のことです。もう少し平たく言いますと、学生により良い教育を提供し、学生の理解が高まるような授業を行っていかうとする大学あげでの取り組みといえます。ここまでかみ砕いてやっと FD とその活動内容が理解できると思われれます。

従来、教育改善への取り組みは、それぞれの大学の努力目標でしたが、平成19年に大学院教育で義務化され、翌年には学部教育でも義務化されました。これは、大学の教員個人に対してその取り組みを義務付けるのではなく、各大学が組織的に実施することを義務付けたものです。「大学設置基準」25の3では、「大学は、授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施するものとする」とされています。現在は、その教育改善の方策について各大学でさまざまな試みがなされている段階です。

本学では、平成19年度に FD 委員会を発足させました。それ以降、FD 委員が学外で開催される FD フォーラムや研修会に参加して、FD への理解を深める一方、学内でも FD に関する基本的な意識や知識を全教員が共有するための講演会を開催してきました。教育改善のための具体的な取り組みの一つとして、平成20年度後期には公開授業を行い、報告書を公開しました。公開授業は、授業の公開と参観、アンケート調査と検討会から成り立っています。本学では、授業科目を総合系、有機・生薬系、物理・分析系、生物系、医療系の5つに分けて、それぞれ一人の先生に授業を公開してもらい、その授業を FD 委員と数人の教員が参観することになっています。

また、FD 委員が公開授業に対する教員と学生によるアンケート結果を調査・統計処理し、それに基づいて授業担当者と参観者が授業検討会を行っています。この授業検討会で、教授方法や教授内容等に関する意見交換を行って授業を改善していかうというのが、本学での公開授業の流れです。

昨年に引き続き、今年も公開授業を行っています。さらに今年度は、前期に行った公開授業を受け、教員だけでなく学生にも参加を呼びかけた「公開授業研究会」を全学的に開催し、大阪薬科大学における公開授業の現状と課題について意見交換を行いました。この会において、公開授業が授業担当教員だけでなく、公開授業に参加した他の教員の授業改善にも役立っていることが明らかになりました。この結果を踏まえて、今後も公開授業を継続していくことになりました。また、昨年度と同様、公開授業を総括した「平成21年度公開授業報告書」を作成し、公開する予定です。

FD 委員会では、公開授業の継続とともに、現在実施されている「授業評価アンケート」の見直しを進めています。新たなアンケートでは、「学生の理解度と教授内容や教授技術との関連」、「学生の授業への取り組み姿勢と教授内容や教授技術との関連」をより明確にした質問形式や質問内容に見直し、授業改善に役立てる予定です。また、授業を改善するための「成績評価法」についても議論していますが、この「成績評価法」は、教員の授業改善に利用するだけでなく、学生がより自発的に勉学に取り組むために、自らの成績を客観的に評価できるものとなるはずで

本年度は、FD 活動を支える互助組織として立ち上げられた関西地区 FD 連絡協議会に加入し、FD に関する多くの情報を収集することが可能となりました。これらの情報を活用しながら、今後も FD 委員会では、より良い教育活動を行うためのより良い方法を計画し、それを実行に移し、その結果を評価し、それに基づいて計画を改善し、再び実行に移すという「計画・実行・評価・改善」のサイクルを止めることなく、稼働させ続けていくつもりです。

大阪薬科大学では、平成19年度からの3年計画で、継続申請が認められたハイテクリサーチセンター整備事業に伴う研究開発プロジェクト「DNA・RNA結合分子を標的とした疾病の発症機構の解明とその診断・予防および治療薬の開発への応用」の目標達成に向け、各研究グループにおいて、それぞれの研究プロジェクトが鋭意推進されてきたところであります。

本研究プロジェクトでは、毎年度末に学外共同研究者や関連領域で優れた業績を挙げている研究者をお招きして、本事業の目標達成に対する評価・検討のための研究成果発表会として位置づけられています「公開シンポジウム」を行ってまいりましたが、最終年度となる平成21年度は、それに先立ち、11月28日（土）に「研究成果総括発表会」を催し、関係の全研究室の先生方に、過去3年間の研究成果を総括する内容を発表していただきました（表1）。また、公開シンポジウムは12月5日（土）に開催いたしました。外部からのシンポジストとして、大阪大学大学院理学研究科教授 鈴木晋一郎先生、大阪医科大学講師 河野龍而先生をお招きし、学内からは三

野芳紀先生、田中孝生先生にご講演いただきました（表2）。いずれの先生方もそれぞれの分野で精力的にご活躍されておられ、今後の研究推進に貴重な示唆を与えていただきました。ご多用の中、ご講演をお引き受けいただきました先生方には厚く御礼申し上げます。なお、本シンポジウムでは本事業にポストドクターとして採用された方にも発表をお願いしました。

この継続研究プロジェクトは本年度で終了します。そして、平成22年5月31日までに「研究成果報告書」の冊子を作成することとなります。本冊子はこの継続期間内での各研究グループから提出された研究報告書（総括）と学術雑誌に掲載された本研究プロジェクト関連論文、総説・解説、学会活動を研究グループ毎に取りまとめ、文部科学省高等教育局私学部私学助成課に提出します。本冊子は、外部の学識経験者で構成される「私立大学戦略的研究基盤形成支援検討会」において書面審査を受け、次年度の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」の選定のための資料とされています。

表1 継続ハイテク研究成果総括発表会プログラム

発表者名	研究課題名
石田 寿昌	mRNA 翻訳開始反応における開始因子 eIF4E の機能発現と内因性因子による制御機構の解明
辻坊 裕	海洋細菌 <i>Pseudoalteromonas</i> sp. O-7株のキチン分解機構に関する研究
小林 祐次	リボソーム再生系を標的とした新規抗生剤の開発
天野富美夫	炎症の発症における DNA 結合複合体の関与と細胞内標的分子の解析
辻坊 裕	<i>Vibrio vulnificus</i> の鉄過剰および欠乏条件下におけるプロテオーム解析
齋藤 陸弘	シスプラチン耐性がん細胞増殖抑制能をもつ白金錯体の開発
田中 麗子	新規天然化合物の構造、並びに活性に関する研究
宇佐美吉英	抗がん活性物質の合成を指向する有機金属試薬を活用したヘテロ環への新しい置換基導入法の開発
春沢 信哉	新規 C-ヌクレオシドの合成法の研究とそれに基づく RNA 触媒の機能解明
浦田 秀仁	2'-置換ヌクレオシド類の新規合成法の開発と核酸医薬への応用
高岡 昌徳	プロリルオリゴペプチダーゼによる細胞周期制御機構の解明と癌治療への応用
松村 靖夫	虚血性臓器障害の発症における DNA 複合体の関与の解明と治療薬の開発への応用
河合 悦子	腎不全の発症・進展における DNA 結合因子の解析と治療薬の開発
藤森 功	脂肪細胞分化制御に関わる新規 MicroRNA の作用機構の解明
田中 一彦	Capsaicin と CYP3A mRNA 誘導作用 - 循環器用剤 digoxin pharmacokinetics への影響 -
大桃 善朗	DNA 異常による過剰発現分子を指標にしたがんの早期診断のための放射性診断薬の開発

表2 大阪薬科大学ハイテクリサーチセンター
平成21年度公開シンポジウム

第一部 DNA・RNA 結合分子を標的とした疾病の発症機構の解明とその診断・予防および治療薬の開発への応用
9:15~9:30 「リボソーム四量体の構造解析」 大阪薬科大学ハイテクリサーチセンター専従ポストドクター 西村 光広
9:30~9:45 「in vivo 光イメージングを指向したπ電子拡張型凝集誘起発光性 (AIE) 分子の創製」 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科特任助教 神野 伸一郎
9:45~10:00 「次世代制がん剤の開発研究」 鈴鹿医療科学大学薬学部助教 米田 誠治
10:00~10:45 「鉄といのちーその取り込み機構から DNA に対する影響まで」 大阪薬科大学教授 三野 芳紀
10:45~11:30 「銅型亜硝酸還元酵素の新展開」 大阪大学大学院理学研究科教授 鈴木 晋一郎
11:30~12:30 -ポスターセッション-
12:30~13:15 「過食性肥満ラット (OLETF) に対するチアミンの効果」 大阪薬科大学教授 田中 孝生
13:15~14:00 「ヒト心房性利尿ホルモンの経鼻投与は慢性心不全に有効か？」 大阪医科大学第3内科学教室講師 河野 龍而
14:00~15:00 -ポスターセッション-

例年の通りハイテクリサーチセンターの第3回の公開シンポジウムを12月5日(土)に開催しました。

本「創薬基盤科学技術研究センター」のシンポジウムは、平成14年度より継続して今年度で終了する「DNA・RNA結合分子を標的とした疾病の発症機構の解明とその診断・予防および治療薬の開発への応用」をテーマとした本学のもう一つのハイテクリサーチセンターの発表の後、午後から2題の講演と8題のポスター発表として行われました。

「生活習慣病を標的とする分子構造と分子間相互作用の情報に基づく合理的創薬システムの開発」を目指し、平成19年度より5年間のプロジェクトとして始まった私たちのセンターも3年目を迎えました。この間、各メンバーは各自の研究を継続するとともに、毎月1度集まり、共通の目標を達成すべく研究発表を行っています。

この各自の1年間の成果をポスターで発表し、質疑応答を交わすことにより出席者の理解を求めました。さらに「生体高分子の構造情報に基づく合理的創薬 (Structure Based Drug Design, SBDD) の概念を一層発展させ、定量的な熱力学解析に基づいた分子間相互作用に関する情報と、水和水の情報をも含む飛躍的に精度の高い構造情報とを融合することによる新しい合理的創薬の手法の開発と応用」を目標とし、「現実的に薬物候補物質を得ること」を目指して行っている研究の一部

をセンター長の小林が「当センターに於ける創薬への二、三の試み」と題して、糖尿病発症にかかわる核内レセプター PPAR γ と肥満に関連するアディポネクチンについて紹介しました。

学外からの講師として、センターではリボソーム再生因子(RRF)やトリガーファクター(TF)の構造から新規の抗生物質の創製の研究を続けていますが、2009年のノーベル化学賞がリボソームの構造解析を行った3人の科学者に与えられたこともあり、もう一つのセンターの主題とも共通することから、リボソーム研究の第一人者である東京大学大学院新領域創成科学研究科 上田卓也教授に講演をお願いしました。

上田先生は「蛋白質合成系を用いた創薬システムの開発」といったタイトルで、大腸菌由来の蛋白質、リボソーム、t-RNAを用いた蛋白質合成系の再構築の確立、さらにその系を用いた、膜蛋白質の合成と医薬品として大きな期待を持たれながらも実現が困難な抗体医薬品作製への展望について壮大なお仕事をご紹介してくださいました。

講演会の後の懇親会には多くの教職員とともに予想を上回る学生の参加があり、演者の先生方を交えて二つのシンポジウムでの話題を中心に熱気のこもった会話が弾みました。

大阪薬科大学ハイテクリサーチセンター
平成21年度公開シンポジウム

第二部 生活習慣病を標的とする分子構造と分子間相互作用の情報に基づく合理的創薬システムの開発

「当センターに於ける創薬への二、三の試み」 大阪薬科大学客員教授 小林 祐次

「蛋白質合成系を用いた創薬システムの開発」 東京大学大学院新領域創成科学研究科教授 上田 卓也

平成21年度ポスター発表

ポスターNo.	氏名	研究室名	研究課題名
1	小林 祐次 西村 光広	創薬基盤科学	PPAR γ - コファクター間相互作用の結晶構造解析及び熱力学的解析
2	石田 寿昌 友尾 幸司 尹 康子	薬品物理化学	認知症治療薬の開発を目指したタウ蛋白質の重合阻害物質の探索
3	辻坊 裕 土屋 孝弘	微生物学	<i>Trichoderma viride</i> H 1 - 7 株の産生するチロシナーゼ阻害物質の単離精製
4	松村 靖夫 大喜多 守	病態分子薬理学	慢性腎臓病(CKD)防御因子としてのエンドセリン ET _B 受容体 /NO 産生系
5	田中 麗子	医薬品化学	生活習慣病を標的とする天然物由来トリテルペノイドの医薬への応用
6	藤井 忍	生化学	スフィンゴミエリナーゼのリン脂質認識機構の解析
7	佐藤 卓史	生体分析化学	光学異性体間で異なる分子間相互作用と活性を示す新規白金製がん剤の合成およびその作用の評価
8	田中 孝生 幸田 祐佳	薬物治療学	チアミンの生活習慣病予防に関する研究

前年度に引き続き、平成21年度前期授業科目に対して1～4年次を対象に評価アンケートを行いました。前号でも記しましたが、アンケート調査を行う目的は、授業(講義・演習・実習内容とそのレベル)が学生にとって適切か、理解させるための工夫・配慮が十分になされているかを学生に問うとともに、教育全般に関する意見や要望を聞き、講義担当者が学生により分かりやすく、有益な授業を行うこと、また、学生主体の教育へと改善していくことにあります。そのため、本学では平成13年度から継続して評価アンケートを行っています。その継続評価によってはおじめて、担当の授業・演習・実習内容が、学生にとって分かりやすい・興味ある・有益な・知識を向上させる教育に遇っているか、またそのための努力が十分になされているかの評価が可能となるからです。現在、本学ではFD (Faculty Development)委員会が教育全般についての評価を進めていますが、このアンケート評価は授業科目の総合評価のための重要な基礎資料を提供するものと確信しています。

アンケートの結果は長期保存のためにデータ化した後、授業担当者に返却し、担当者は学生の評価に対する感想・意見と今後の対応を「学生へのメッセージ」として小冊子にまとめ学生の閲覧に供しています。一方、授業を効果的に進める上で必要な施設・設備的な要望や意見に対しては、教務部・教務課が中心となって対応しています。

以下に平成21年度前期集計結果の全体的な概要を掲載しています。学生全員または半数のクラスが一同に講義を受ける教科目に対しては、例年その回収率は低く、今回も全学年で64.7%でありました。一方、実習・演習科目に対する評価アンケートの回収率は、1年次生91.3%、2年次生91.6%、3年次生94.1%、4年次生89.0%、全学年91.4%と非常に高い数値を示しており、回収率はアンケートの取り方(座学のようなまとめて実施する場合と実習・演習のような少人数ごとに実施する場合)に大きく影響されることは明らかです。そ

こで、評価アンケートの重要性に鑑み、通常講義の回収率を高めるため、アンケートの実施時間を特別に設ける等の方策を是非とも考えたく思っています。

図1は17の全設問項目について1～4年次科目の各平均値を示した棒グラフ図、表1は各設問項目に対する評価分布を示しています。5段階評価で表しています。設問項目11と17を除く残りは全て3.7以上であり、比較的良好に授業が進められていると判断しています。一方、最低評価の設問項目17(全学年平均値=3.43)が低いことが気になっています。それは、私の経験からして、毎回受ける講義を予習・復習をしないで授業を受ける場合、予習・復習をした場合と格段に講義内容に対する理解の程度が異なり、それが定期試験結果に大きく反映されるからです。従って、目的意識を持たず、ただ漫然と授業に臨んだ場合、学習効果は極めて低く、このような対応が続けば知識は十分に身に付かず、学年進行とともにますます授業が理解できなくなる危険性のあることを学生諸君は十分認識すべきです。このことは、設問項目11で授業レベルが難しい、どちらかと言えば難しいと答えた学生が合わせて54.5%もいたこと、設問項目12が全体として低い評価(3.78)であったことから明らかです。教員側もこのことを十分認識して、各学生に必ず毎回の講義内容について予習・復習をするよう、また、疑問の個所は必ず自分で調べるか、質問して必ず解決するよう、指導していただきたく思います。

図2は設問項目5、6、11、12、15、16について、6年制(H18年度以降入学)学生の各学年の比較を示しています。参考までに4年制(H15～H17年度入学生)の昨年までのデータも示しています。正確な解析には評価データがさらに必要ですが、6年制入学生の各項目の平均値や学年進行に伴う平均値の推移では4年制の1～3年次までの結果と比べて大きな相違は見られず、新制度移行に伴うカリキュラム(教育内容)変更は学生の勉学意欲に大きな変化(影響)を与えることなく比較的スムーズに行われていることが伺えます(前回の平成20年度

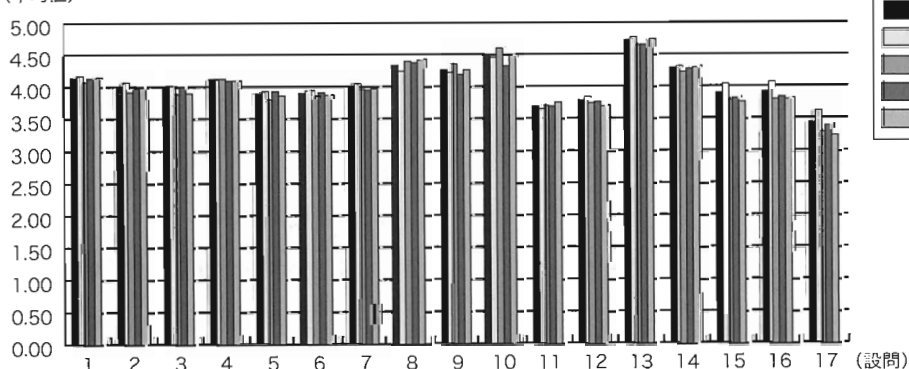
	全学年	1年次生	2年次生	3年次生	4年次生
延べ履修人数	17,331名	5,511名	4,423名	4,202名	3,195名
延べ回答人数	11,210名	4,251名	2,486名	2,786名	1,687名
回答率	64.7%	77.1%	56.2%	66.3%	52.8%

図1

【設問】

1. 口調が明瞭で聞き取りやすかったですか
2. 板書やその他(プリント、OHP、ビデオ、液晶プロジェクター)による説明が適切で授業の理解に役立ちましたか(板書等を使用しなかった場合は0を記入してください)
3. ポイントをよく押さえ、うまく要約されていましたか
4. 授業は、「授業の内容」(シラバス)に沿って進められましたか
5. 授業は、説明が十分に理解しやすかったですか
6. 授業に対する関心を高める努力がなされていましたか
7. 私語や態度の悪い学生に対し注意するなど、静かに授業が行われるように工夫されていましたか
8. 授業は、時間通り始まり時間通り終わりましたか
9. 指定されたテキストや教材は適切に使用されていましたか(指定されていない場合は0を記入してください)
10. 休講があった場合、その補いは十分にされていましたか(休講がなかった場合は0を記入して下さい)
11. 授業内容のレベルはあなたにとって適切でしたか。次の基準で回答してください(5-非常に難しい、4-難しい、3-適切、2-簡単、1-簡単すぎる)
12. この授業を総合的に評価してください。次の評価基準で回答してください(5-非常に良い、4-良い、3-普通、2-あまり良くない、1-良くない)
13. あなたは、この授業によく出席しましたか
14. あなたは、私語などせず授業に集中しましたか
15. この授業を受けてその分野に対する関心が高まりましたか
16. この授業は、あなたにとって有意義なものでしたか
17. あなた自身、授業を理解するよう努力(予習・復習等)していましたが

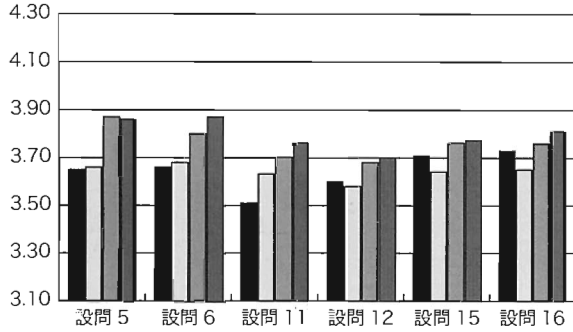
(平均値)



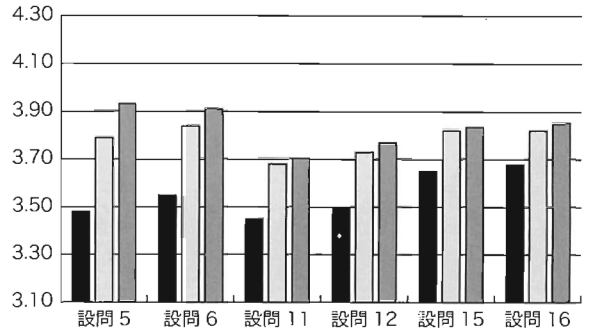
回答は、5-そう思う(5ポイント)、4-どちらかといえばそう思う(4ポイント)、3-どちらともいえない(3ポイント)、2-あまりそうは思わない(2ポイント)、1-そうは思わない(1ポイント)から選択。ただし、設問2、9、10については、0-該当しない(0ポイント)を別けています。また、各設問において回答がない場合は、集計から除外しています。

図2

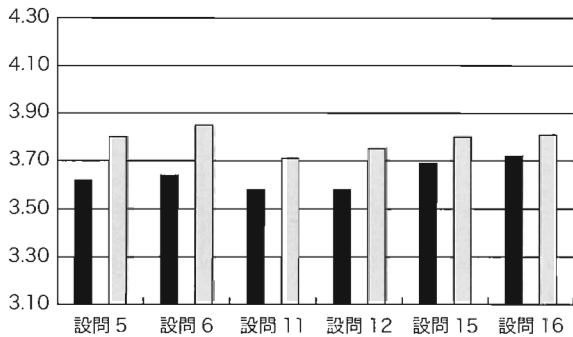
【平成18年度入学者（新6年制課程）】



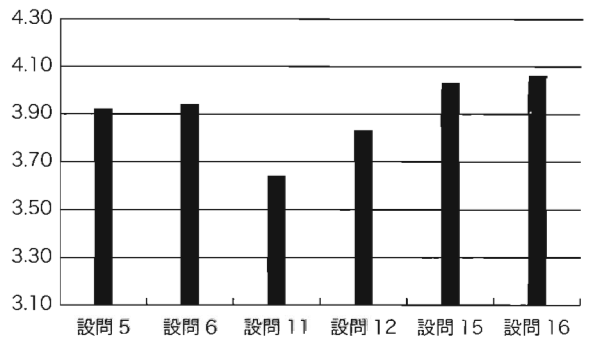
【平成19年度入学者（新6年制課程）】



【平成20年度入学者（新6年制課程）】

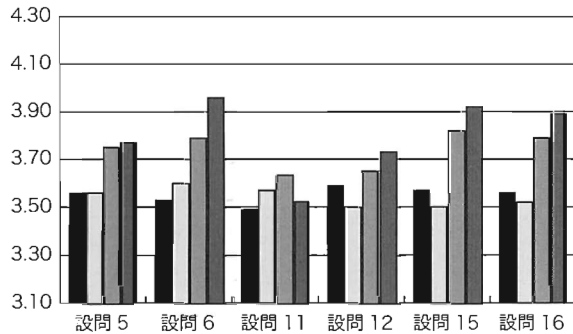


【平成21年度入学者（新6年制課程）】

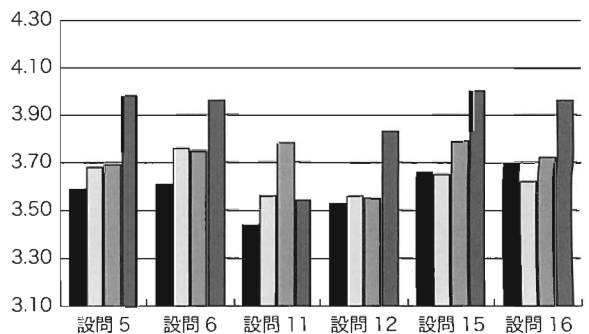


<参考資料>

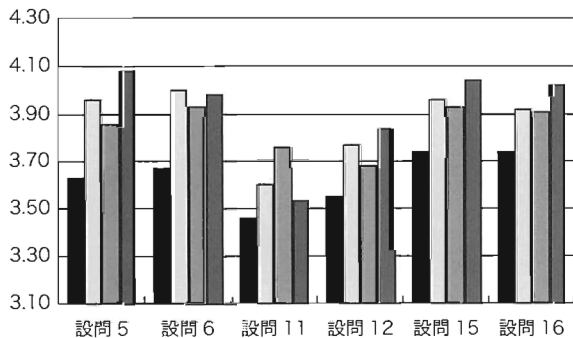
【平成15年度入学者（旧4年制課程）】



【平成16年度入学者（旧4年制課程）】



【平成17年度入学者（旧4年制課程）】



■ 1年次生 □ 2年次生 ▨ 3年次生 ■ 4年次生

本年度の公開教育講座は平成17年度から継続の「くすりの作用と副作用～薬物治療における安全管理のために～」を基本テーマに開催いたしました。5月30日(土)開催の第51回公開教育講座では「睡眠障害」について、7月4日(土)開催の第52回公開教育講座では「注意欠陥／多動性障害(AD／HD)」について、11月21日(土)開催の第53回公開教育講座では「うつ病・不安障害」を取り上げ、それらの発症要因から治療薬の作用と副作用まで、基礎と臨床の両面から討論してまいりました。

本年度の開催を終え、延べ参加者数が1,387名(本学卒業生42.0%、他大学卒業生等58.0%)となり、参加

者の皆様のアンケート結果によりますと概ね好評を得ております。これもひとえに多くの皆様のご支援の賜物であると心より感謝しております。ご協力いただいた方々には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

最後に本講座の開催にあたり、ご共催いただきました(財)日本薬剤師研修センター並びに(社)日本薬学会近畿支部、ご後援いただきました(社)大阪府薬剤師会並びに大阪薬科大学同窓会に厚く御礼申し上げます。

第28回市民講座(3大学連携事業)を終えて

市民講座委員会委員長 田中 一彦

本学市民講座も高槻市に定着し、おかげさまで第28回を終了することができました。

本年度は、メインテーマを「おくすりと上手に付き合っていますか」として、より楽しく薬について学習していただける「市民参加型講座」を目指し、また第28回では本学と大阪医科大学並びに関西大学での共同による3大学連携事業(文部科学省平成21年度「大学教育充実のための戦略的3大学連携支援プログラム」)の一環として開催いたしました。

第28回の講演内容については、これまでの参加者の皆様のアンケート結果を参考として、また、3大学連携事業の一環として開催する利点を生かすべく、大阪医科大学並びに関西大学から先生方を座長としてお招きし、より参加者の皆様のご期待にお応えできるように企画いたしました。さらに、講演後には各大学の先生方を中心としたパネルディスカッションを行い、参加者からのご質問を踏まえた活発な意見交換を行うことができました。なお、本講座の様子は3大学間で導入されたテレビ

会議システムを活用し、同時中継を行いました。

同時に、従前からの「くすりの相談室」「薬用植物園の見学」「図書館・資料展示室の見学」も併せて開催し、「くすりの相談室」では大阪医科大学附属病院等の病院薬剤部及び保険薬局等からのご協力のうけ、第一線で活躍中の薬剤師の先生方に、薬に関するさまざまな相談に応じていただきました。

近年減少傾向となっていた参加者数については、本年度より増加傾向に転じ497名もの市民の方々が参加され、成功裏に終えることができました。これもひとえに多くの皆様方のご支援の賜物であると心より感謝いたしております。この場を借りて厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、本講座の開催にあたり、ご共催いただきました高槻市、(社)日本薬学会近畿支部、(社)大阪府薬剤師会、(社)大阪府病院薬剤師会及び大阪薬科大学同窓会、並びにご後援いただきました大阪府、高槻市教育委員会及び高槻市薬剤師会、協賛品をご提供いただきました各企業に厚く御礼申し上げます。



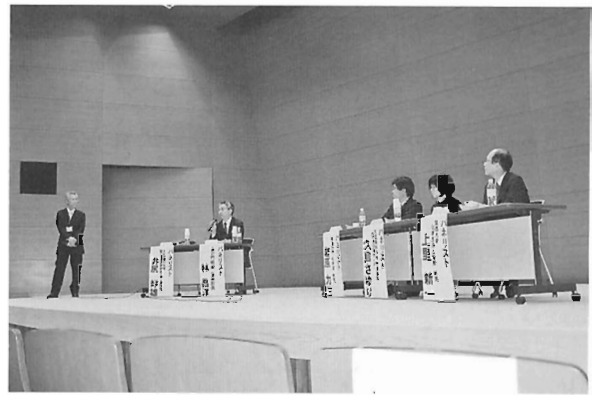
井尻 好雄先生



林 昌洋先生

平成21年度市民講座
「おくすりと上手に付き合っていますか」
第28回(3大学連携事業)
10月17日(土) 13:00~16:10

1. 「おくすり、案外知らない副作用」
講師 大阪薬科大学 臨床薬剤学研究室 准教授
井尻 好雄 先生
座長 大阪医科大学 内科学Ⅲ 准教授/同附
属病院臨床治験センター長
林 哲也 先生
2. 「おくすり、ほうっておくと怖い副作用の初期症状」
講師 虎の門病院 薬剤部長 林 昌洋 先生
座長 関西大学 法学部 教授 葛原 力三 先生
3. 3大学によるパネルディスカッション
パネリスト 大阪医科大学附属病院 臨床治験センター
久島さゆり 先生
大阪薬科大学 臨床薬剤学研究室 准教授
井尻 好雄 先生
関西大学 化学生命工学部 教授
上里 新一 先生
関西大学 法学部 教授
葛原 力三 先生
虎の門病院 薬剤部長
林 昌洋 先生(特別参加)



3大学によるパネルディスカッション



くすりの相談室

3大学(関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学)連携事業の取組事業「社会連携」の一環として、平成21年12月12日(土)本学において、高槻市民、高槻市に事業所・学校があり通勤・通学している方を含むご家族を対象とする「医工薬連環科学 高槻家族講座」が開催されました。当日は、講演には103名、子供体験コーナー(小学生とその保護者対象)には保護者を含め27組・46名の参加者があり、盛況裏に終了しました。

医工薬連環科学 高槻家族講座
シリーズ 「食と健康」
第1回 「プリン・ぶるるん・水ようかん」

第1部 全体講演(大阪薬科大学C棟201講義室)
14:00 ~ 開会挨拶とはじめに
関西大学化学生命工学部 准教授 河原秀久 氏
14:05 ~ 招待講演「寒天のお話」
株式会社タニチ 代表取締役 川畑孝彦 氏

第2部
◎ 講演 15:00 ~ 15:40
(大阪薬科大学C棟201講義室)
「ツルツル・プルプルのどごし爽やか
~^{えんじ}嚥下障害を救う~」
大阪医科大学 教授 出口寛文 氏
◎ 子供体験コーナー
15:00 ~ 16:00
(大阪薬科大学C棟403実習室)
「寒天の使い方、寒天を使った
水ようかん・ゼリーの作り方」
株式会社タニチ

「こころの窓」

これを見たことがあるでしょうか？「ジョハリの窓」と呼ばれるものです。

<ジョハリの窓>

		自分自身が	
		知っている	知らない
周囲の人が	知っている	明るい窓 自分もわかっており、他人も知っている自分	盲目的窓 自分は気づいていないが、他人が知っている自分
	知らない	隠された窓 自分はわかっているが、他人にはわからない自分	未知の窓 自分も他人も気づいていない自分

- 【明るい窓】 あなた自身も気づいていて、他者も知っているあなたです。
- 【盲目的窓】 他者には見えているけれど、自分では気づいていないあなたです。
「あの人、自分では気づいていないけれど○○だね。」といわれる部分。
- 【隠された窓】 他者には見せていないあなたです。
外には出さないけれど自分の中にある一面。
- 【未知の窓】 あなた自身も周囲の人も気づいていないあなたです。
まだ開発されていない部分。可能性。

人は誰でもこの4つの窓を持っています。どんなに他者に対してオープンな人でも、やはり自分だけの心の中の世界、上の表でいうと『隠された窓』を持っているものです。『盲目的窓』というのはちょっと気になる場所ですが、これもまたどんな人でも持っています。たとえ自分自身のことであってもそのすべてを知ることはできません。自分の動きや表情を四六時中モニターし続けることはできませんし、自分が表現するものを他者がそのまま受け取っているとも限りません。ときに人から思わぬこと…ほめられることであったり、怒られることであったりしますが…を言われて驚くことがあります。言われて、ああそうなのかと気づけばそれはもう『明るい窓』に入ります。完全に拒否すればそれは『盲目的窓』のままです。このように上の窓は少しずつその大きさを変えます。しかしどの窓も完全になくすることはできません。

『未知の窓』というのはどういうものでしょうか？自分も他者も気づいていない自分というのはあるのでしょうか。心理学では心の中に「無意識」という領域があると想定しています。普段、意識できないけれど、人は無意識の意図によって振舞っているときがあるというのです。『盲目的窓』も無意識が関わっていると思いますが、人に指摘されて意識しようと思えばまだ意識できます。『未

知の窓』はさらに奥深い無意識の領域で、なかなかその実態をつかむことはできません。しかし手がかりは皆無ではありません。そのひとつが「夢」です。夢はその人が精神的なバランスを保つために見ていると言われていています。自分が作り上げていることに違いないのですが、なぜそんな夢を見たのか全く見当がつかないことがあります。フロイトやユングといった心理学者は夢は「無意識からのメッセージ」と考え、夢の持つ意味を分析しました。そうしてその人が陥っている問題の意味を理解し、進むべき方向性を探ろうとしたのです。普段の生活の中で夢を分析するということはなかなかできませんが、自分の中にはまだ開発されていない部分がある、問題の解決策は自分の中にあると思うと少し勇気が湧いてきませんか？

学生相談室では相談を受け付けています。勉強のこと、人間関係、自分の性格などどんなことでもかまいません。困ったことがあれば相談に来てください。話していただくことで気持ちが楽になるかもしれません。

学生相談室

本学では、学生相談室を設け、週に2回、カウンセラー（専門の臨床心理士）が相談を受け付け、学生が抱える問題や悩みに対処しています。



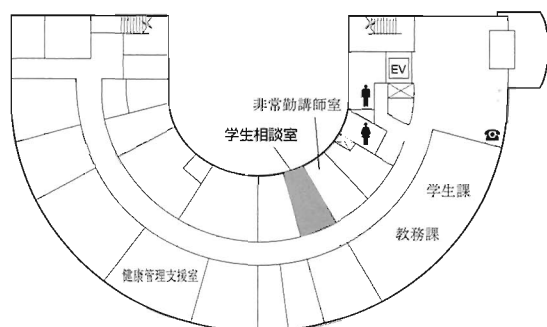
岡 鈴佳相談員



原 祐子相談員

開室時間：毎週火・木曜日 12:00～16:00
TEL：(072) 690-1077（直通）
E-mail：counsel@gly.oups.ac.jp

《場所》A棟1階



事務局だより

総務課

■人 事

採 用(平成21年11月1日付)

薬 剤 師 鈴木 靖規(嘱託職員)

(平成21年12月1日付)

事務職員 錦野 晴俊(キャリアサポート課長)

委 嘱(平成21年10月1日付)

特任教授 梶本 哲也(常勤)

解 嘱(平成21年9月30日付)

客員研究員 梶本 哲也

■学位記授与式

平成21年9月30日(水)午前11時30分より大会議室において、平成21年9月学位記授与式(学部15名)が挙行されました。



■海外出張

井尻 好雄 准教授(臨床薬剤学研究室)

加藤 隆児 助 教(臨床薬剤学研究室)

<出張期間:平成21年10月2日~10月10日>

第11回国際TDM会議への参加及び研究発表

(カナダ)

恩田 光子 准教授(臨床実践薬学研究室)

<出張期間:平成21年11月11日~11月15日>

平成21年度薬剤使用状況等に関する調査研究

(厚生労働省からの委託研究) (アメリカ)

■受 賞

馬場きみ江 教授(生薬科学研究室)

日本生薬学会論文賞 受賞(平成21年10月3日付)

■学生食堂リニューアルオープン

学生食堂(大学会館内)が平成21年10月30日(金)にリニューアルオープンしました。食堂内部が全面的に改装され、明るく利用しやすい食堂に生まれ変わ

りました。また、「Edy」カードにも対応可能な券売機を4台導入し、食券の購入も便利になりました。新しくなった学生食堂を是非ご利用ください。

なお、営業時間は月曜日~土曜日の午前11時~午後3時までとなっています(日曜日・祝日は休業)。



研究管理支援室より

平成21年度実験動物慰霊祭について

平成21年12月8日(火)12時20分よりC105講義室において、教職員、学生200余名の参加者の下、実験動物慰霊祭が執り行われました。

慰霊祭は、参加者全員で黙祷を行った後、千熊学長の挨拶につづき、掛見教授(動物関連研究施設運営委員会委員長)及び安田准教授(動物関連研究施設管理責任者)から挨拶と施設利用状況等についての報告がありました。最後に、教育、研究のため尊い犠牲となった実験動物の御霊に対し、全員で献花を行い、感謝の念を捧げるとともに冥福を祈りました。

経理課

平成22年度 納付金について

薬学部 納付金[薬学科(6年制)・薬科学科(4年制)共通]

区 分		前 期	後 期	計
入 学 金 (初 年 度)		400,000円	—	400,000円
学 費	授 業 料	600,000円	600,000円	1,200,000円
	施 設 ・ 設 備 費	300,000円	300,000円	600,000円
計		1,300,000円	900,000円	2,200,000円

※5年次以降に予定されている学外での病院・薬局実務実習に必要な費用は大学が負担します。

※学友会及び育友会から徴収を委託されている納付金として、学友会入学金1,000円(初年度のみ)、学友会費5,000円(年額)及び育友会費18,000円(年額)があります。

なお、学友会とは本学学生で構成される自治団体、育友会とは本学学生の父母若しくはこれに準ずる者で構成される団体です。

大学院薬学研究科薬科学専攻(修士課程)納付金

区 分		前 期	後 期	計
入学金 (初年度)	他 大 学 卒 業 生	300,000円	—	300,000円
	本 学 卒 業 生	免 除	—	0円
授 業 料		300,000円	300,000円	600,000円

※育友会から徴収を委託されている納付金として、育友会費18,000円(年額)があります。

大学院薬学研究科薬学専攻(博士後期課程)納付金

区 分		前 期	後 期	計
入学金 (初年度)	他大学大学院修士課程修了生	300,000円	—	300,000円
	本学大学院修士課程修了生	免 除	—	0円
授業料	推薦(一般)入学生・一般入学生	400,000円	400,000円	800,000円
	推 薦 (特 別) 入 学 生	300,000円	300,000円	600,000円

※育友会から徴収を委託されている納付金として、育友会費18,000円(年額)があります。

教務課

学位授与

[博士]

論博第57号 博士(薬学) 門嶋久美子
免疫反応及び皮膚炎症に対するホスホジエステラーゼ7阻害薬の作用に関する研究
(平成21年11月2日付)

論博第58号 博士(薬学) 西田 昌広
実験的循環器疾患モデルの病態発症と進展におけるエンドセリンの役割に関する研究
(平成21年11月2日付)

[学士]

学士(薬学) 男子5名 女子10名 合計15名
薬学科 7名(男子3名、女子4名)
生命薬学科 8名(男子2名、女子6名)
(平成21年9月30日付)

入試課

オープンキャンパス2009

■日程／参加者数

①7月25日(土) / 200名

②7月26日(日) / 300名

③8月23日(日) / 320名

午前の部 11:00~12:00

午後の部 13:00~16:30

(3日間とも共通)

<プログラム>

- 入試説明
 - 特別講師による受験セミナー
 - 卒業後の進路について
 - 模擬授業「健康と環境～予防薬学へのいざない～」
模擬実験 ①葛根湯を作ろう
②薬剤師の仕事体験してみよう
③バスフィズ(発泡性入浴剤)を作ろう
 - 製剤展示 様々な薬の形とその使い方
 - キャンパスツアー&フリートーク
 - 個別相談
- 注)無印は、午前の部も実施



説明会場



模擬実験

ミニオープンキャンパス2009

■日程／参加者数

10月31日(土) / 101名 13:30~15:00

大薬祭(大学祭)と同時開催

<プログラム>

- 入試説明
- 卒業後の進路について
- 個別相談



製剤展示



個別相談



キャンパスツアー&フリートーク

平成22年度 大阪薬科大学大学院 学生募集概要

●薬学研究科薬科学専攻修士課程*

募集人員 / 20名

出願開始日 / 平成21年12月1日(火)

出願締切日 / 平成21年12月9日(水)

学力試験日 / 平成21年12月12日(土)

合格発表日 / 平成21年12月24日(木)

*平成22年度開設

●薬学研究科薬科学専攻修士課程* (第2次)

募集人員 / 若干名

出願開始日 / 平成22年2月10日(水)

出願締切日 / 平成22年2月19日(金)

学力試験日 / 平成22年2月25日(木)

合格発表日 / 平成22年3月2日(火)

●薬学研究科薬学専攻博士後期(博士)課程

募集人員 / 5名

出願開始日 / 平成22年1月18日(月)

出願締切日 / 平成22年1月25日(月)

学力試験日 / 平成22年2月4日(木)

合格発表日 / 平成22年2月17日(水)

～マナーについて～

【単車の運転マナー】

平成21年10月より、単車通学の許可条件を緩和しましたが、近隣住民からバイクの運転マナーが悪い、危ないといった苦情が多数寄せられています。大学周辺には、住宅や小学校があり、また、周辺の道路は地域住民の方の生活道路ですので、迷惑をかけないよう運転マナーを守って安全運転を心がけてください。

交通法規や運転マナーを守らない者に対しては単車通学を禁止するなど厳しく対応します。

- 大学構内：正門では一時停止をすること。構内では徐行運転し、駐車場以外の場所に単車を停めないこと。
- 騒音：単車の改造をしない。エンジンの空ふかしや、駐車場内でのおしゃべりを慎む。
- 交差点：対向左折車の前を右折で横切るのは危険です。
- 安全速度：制限速度を守る。子供の飛び出しに注意し、安全な速度で走行する。
- 通り抜け：店舗の駐車場、住宅街の通り抜けをしない。
- すり抜け：車輪間をすり抜ける無理な追い越しや信号待ちで車の前に出るような行為をしない。
- 車間距離：車の後ろにぴったりつく行為は大変危険です。車間距離を保つこと。
- 集団走行：単車で走ると騒音も大きくなり危険です。

【自転車の運転マナー】

- スピードの出し過ぎに注意→特にお年寄りや子供にとって、下り坂の自転車はとても危険です。自転車による対人事故の報告も届いていますので十分注意してください。
- 夜間はヘッドライトを点灯する。

【バスの乗車マナー】

バスの乗車マナーに関する苦情がよく寄せられています。皆さん一人ひとりが大阪薬大生であることの自覚を持って行動してください。

- お年寄り、体の不自由な人、妊婦の方、体調のすぐれない人、小さいお子さんを連れている人などには率先して席を譲る→医療系の大学で学ぶ皆さんの優しさに期待します。
- 大きな声で話をしない→本学学生以外の人も乗車しています。仕事で疲れている人も乗っていますので、気配りが大切です。
- 車内では携帯電話を使用しない。

～正課中、クラブ活動中、学校施設内、 通学途上でケガをした場合～

大学及び育友会による「医療費補助制度*」により医療費が補助されます（通学途上を除く）。また、治療日数に応じて「学生教育研究災害傷害保険」の給付を受けることができますので、学生課で手続きをしてください。

- ①まず学生課で「事故報告書」「医療費補助申請書」「学研災害事故通知ハガキ」を受け取る。
- ②事故発生から1週間以内に「事故報告書」「学研災害事故通知ハガキ」を学生課に提出する。
- ③治療が終わったら速やかに「医療費補助申請書」を学生課に提出する。

* 事故発生から1ヵ月以内の治療で、通院5回（入院5日）までの診療費（健康保険適用分）を補助します。上限は10万円です。

～人権講演会を開催しました。～

主催：人権委員会

平成21年11月27日(金)午後4時30分より、D301講義室において学生・教職員を対象とした人権講演会を開催しました。今回のテーマは「高齢者と人権」でした。講師は中尾敦子氏(NPO法人高齢社会をよくする女性の会・理事)にお願いし、「すべての世代が活力ある社会をめざして」の副題で講演していただきました。当日は、1年次生を中心に約350名が参加し、熱心に聴講していました。



奨 学 生 状 況

平成21年10月1日現在

1. 日本学生支援機構

区 分		1年次	2年次	3年次	4年次	大学院 (博士前期課程)	大学院 (博士後期課程)	合 計
第一種	人 数	40	36	36	43	28	0	183
	月 額	自 宅				50,000円* 又は 88,000円	80,000円* 又は 122,000円	
		自 宅 外						
第二種	人 数	92	106	76	75	13	0	362
	月 額 (薬学課程増額月額)	3万・5万・8万・10万・12万円から選択 (12万円を選択した場合は2万円の増額可)				5万・8万・10万・ 13万・15万円から選択		
合 計		132	142	112	118	41	0	545

*印の金額は、平成21年度採用者から選択可

2. 本学独自の奨学金制度

名 称	月 額 (円)	1年次	2年次	3年次	4年次	大学院	合 計	給付・貸与
大阪薬科大学一般奨学金	学 部 50,000 大学院 60,000	3	3	2	4	1	13	一部給付
大阪薬科大学育友会奨学金	40,000又は 80,000	2	3	3	2	0	10	貸 与
合 計		5	6	5	6	1	23	

3. その他の育英・奨学会

名 称	月 額 (円)	1年次	2年次	3年次	4年次	大学院	合 計	給付・貸与
あしなが育英会	40,000	0	1	0	0	0	1	貸 与
(財)小野奨学会	学 部 30,000 大学院 60,000	10	10	5	2	10	37	給 付
(財)河内奨学財団	40,000	0	1	0	0	-	1	給 付
(財)佐藤奨学会	25,000	0	1	1	0	-	2	給 付
(財)大東育英会	15,000	0	0	1	0	-	1	給 付
(財)山口県ひとづくり財団	52,000	1	0	0	0	-	1	貸 与
合 計		11	13	7	2	10	43	

「関西薬連大会・全国薬連大会」結果(平成21年度)

◎関西薬連大会

クラブ名	団体戦		個人戦
剣道部	男子	ベスト4	準優勝：佐藤晃大④ 3位：宮田憲二③
	女子	予選敗退	
	新人戦	優勝	
硬式庭球部	男子	11位	
	女子	優勝	
硬式野球部		準優勝	
サッカー部		準優勝	
柔道部	男子	優勝	(有段の部)優勝：宇野彰④ 準優勝：分林孝文② 3位：河本尚紀③
	女子	-----	(無段の部)準優勝：朝井孝拓①
ソフトテニス部	男子	5位	ダブルス/ベスト8：宮崎縁③・高階真帆③
	女子	3位	
卓球部	試験期間と重なったため出場辞退		
バスケットボール部	男子	3位	
	女子	優勝	
バドミントン部	男子	11位	シングルス/準優勝：和田智予② 3位：植田祐維③ ダブルス/3位：和田智予②・松本千裕① 新人戦シングルス/ベスト8：岡田梨江①
	女子	優勝	
バレーボール部	男子	3位	
	女子	優勝	
陸上競技部	新型インフルエンザのため出場辞退		

◎全国薬連大会

クラブ名	団体戦		個人戦
剣道部	試験期間と重なったため出場辞退		
ソフトテニス部	男子	予選敗退	ダブルス/優勝：宮崎縁③・高階真帆③ ベスト8：松山育美③・森田藍奈②
	女子	準優勝	
卓球部	男子	ベスト12	
	女子	予選敗退	
バスケットボール部	男子	ベスト12	
	女子	ベスト8	

注)○内は学年

平成21年度 父母懇談会

平成21年10月17日(土)から12月5日(土)にかけて、父母懇談会を学外7会場で開催しました。参加者が数名規模の会場から、70名を超える規模の会場まであり、計約220名のご父母が参加されました。いずれの会場におきましても事前に寄せられたご意見、ご質問を中心に、ご父母の皆さまと熱心な質疑応答が行われました。過去2年間のアンケート結果からは開催について肯定的な意見をいただいておりますので、今後とも大学とご家庭との意思の疎通を図るために父母懇談会の開催を継続してまいります。なお、各会場でご協力いただいたアンケートの集計結果につきましては、父母懇談会に協賛いただいております育友会を通じてお知らせいたします。

日程	開催地	開催場所
10月17日(土)	名古屋	ソフィテル ザ サイプレス 名古屋
10月24日(土)	広島	ホテル JAL シティ広島
10月31日(土)	大阪(難波)	スイスホテル南海大阪
11月7日(土)	神戸	ホテルサンルートソプラ神戸
11月14日(土)	高松	全日空ホテルクレメント高松
11月28日(土)	京都	ホテル京阪京都
12月5日(土)	大阪(梅田)	ホテルグランヴィア大阪

*開催時間はいずれも午後2時から午後4時です。



広島会場(10月24日)



大阪(難波)会場(10月31日)

～ 健康管理支援室より ～

平成21年は春から新型インフルエンザ(H1N1型)が流行し、WHO(世界保健機構)は警戒レベルを『フェーズ6』に引き上げ、人から人に感染する『インフルエンザ・パンデミック』が認められています。インフルエンザに限らず感染症にならない/うつさないためには、毎日の生活で行っている衛生習慣(手洗い、うがい、体の清潔)の励行、規則正しい生活(食事と睡眠)、良好な住環境保持(清潔な室内、適度な室温/湿度)等の基礎となる日常生活行動が重要になりますが、今年ほど、その重要性が報道された年はないと思います。自分の生活行動を見直し、健康維持・促進に努力してみてください。数十年後にその努力は必ず報われます！

ことわざ、名句から健康を学ぶ

★食生活のゆがみによって「生活習慣病」や「がん」にもなります★

『医食同源』

*病気を治すのも食事をするのも生命を養い健康を保つため、その本質は同じだということ～「広辞苑」より
*病気の治療も普段の食事と共に人間の生命を養い健康を維持するためのもので、その源は同じである～「大辞林」より

①バランス良く

『砂糖食いの若死』～美味しい物ばかり食べていると、体に良くないといういましめの言葉

②食べ過ぎず

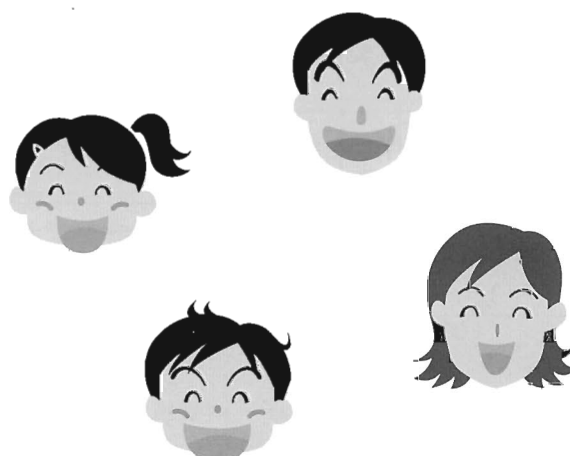
『腹八分に医者いらす』～腹八分目にしておけば健康でいられるという養生を勧めることわざ
『酒は百薬の長、されど万病の元』～適度に飲めば薬以上に健康に良いが、飲み過ぎは病気のもと

③楽しく食事を

『鯛も一人はうまからず』～豪華な食事でも一人で食べると美味しくないと。食事の雰囲気大事であることのとえ

●薬と食物が同じであると考え、個々の食物にもそれぞれの効能があり、バランスのとれた食材を組み合わせ、その効能を引き出すよう調理・工夫された料理は立派な薬にもなります。若くてもファーストフード、インスタント食品の多食は「生活習慣病罹患コース」へ直行となります。『食』の大切さを考えて、悪い食習慣を改善しましょう！

●健康なときや病気になったときも心の持ちかたが大切になります。『病は気から』『気軽ければ病軽し』『心配は身の毒』ということわざがありますが、ストレスがかかりすぎる現在では、常に明るい気持ちを持ち『陽気は美徳、陰気は悪徳』のとおりストレス解消の生活術を習得することが必要です。『へそが茶を沸かす』ように面白すぎて、大笑いできる日々を過ごすよう努力しましょう！



キャリアサポート課

1. 地域別・学部別就職ランキング理系の部全国6位「週刊東洋経済」に掲載されました。

「週刊東洋経済」2009年10月24日号(東洋経済新報社)「地域別・学部別就職ランキング」において、大阪薬科大学は、理系ベスト100の部で全国6位、近畿理系の部で1位として紹介されました。ランキングは、各大

学のキャリアサポート課が発表した今春の就職状況を基に、学部就職率(一部大学院を含んだデータ)を掲載しています。本学では、低学年次からのキャリア教育に重点を置いており、キャリアサポート部委員会、キャリアサポート課を中心に、学生一人ひとりの興味・能力・価値観に合ったきめ細やかなサポートを全学を挙げて行っております。

■理系ベスト100

順位	大学名	学部	就職率 (%)
1	公 岡山県立大学	情報工	100.0
2	私 新潟薬科大学	薬	98.8
3	私 九州保健福祉大学	薬	98.6
4	国 静岡大学	情報	98.5
5	私 名古屋学芸大学	管理栄養	98.1
6	私 大阪薬科大学	薬	98.0
7	私 神戸薬科大学	薬	97.7
8	公 富山県立大学	工	97.6
//	公 秋田県立大学	生物資源科	97.6
//	公 会津大学	コンピュータ理工	97.6

2009年10月24日号 「週刊東洋経済」 83ページより

■近畿 理系

順位	大学名	学部	就職率 (%)
1	私 大阪薬科大学	薬	98.0
2	私 神戸薬科大学	薬	97.7
3	私 近畿大学	工	97.1
4	私 近畿大学	産業理工	96.8
5	公 滋賀県立大学	工	94.7
6	私 摂南大学	薬	94.0
7	公 滋賀県立大学	環境科	93.8
//	私 摂南大学	工	93.8
9	私 同志社大学	工	93.5
10	私 立命館大学	情報工	93.3

同 85ページより

2. 平成21年度キャリアサポートガイダンス「職種紹介学内企業セミナー(薬業関連企業・病院・薬局等)」について

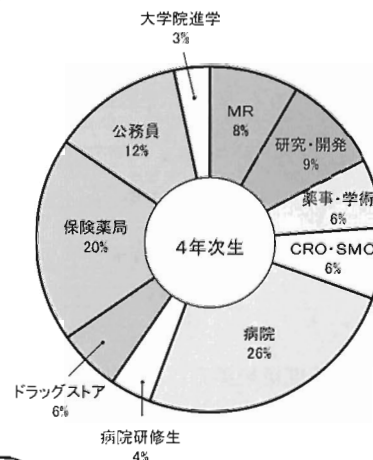
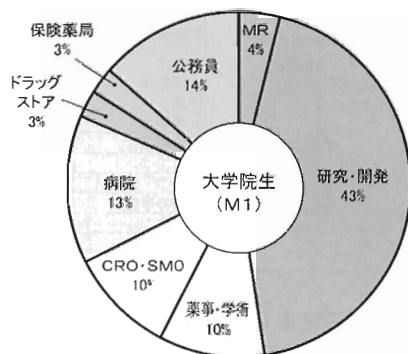
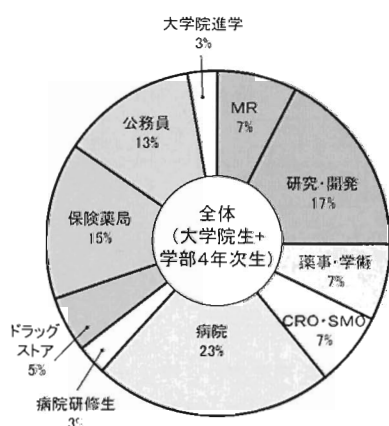
「職種紹介学内企業セミナー(薬業関連企業・病院・薬局等)」を平成21年9月14日(月)に薬業関連企業・病院・薬局等40社にご協力いただきD棟1階 学生ラウンジにおいて実施しました。

当日は、大学院生1年次生・4年次生を中心に244名(M2生9名・M1生67名・4年次生161名・3年次生3名・2年次生4名)の参加があり、学生から熱心で活発な質問も多く飛び交い盛況に開催することができました。また、参加学生を対象に「現在の進路希望状況」「企業・病院・薬局を選ぶ基準」についてのアンケート調査を実施した結果、参加者244名のうち、168名(68.9%)から回答を得ました。(表1)

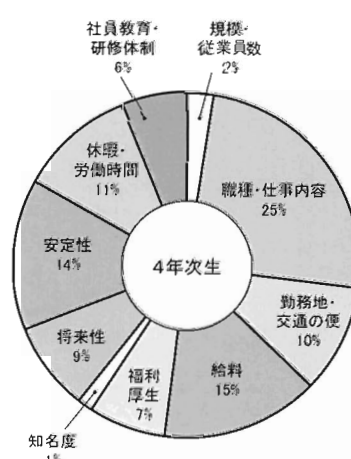
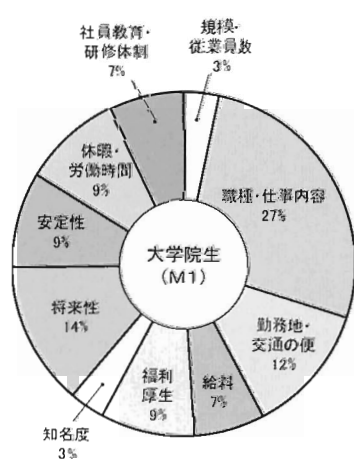
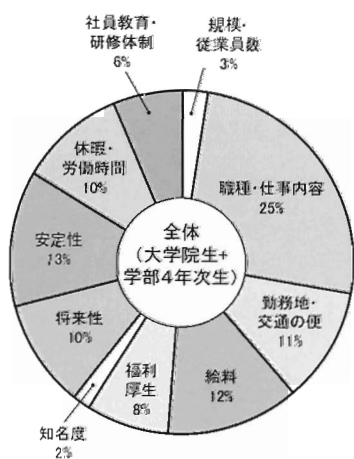


表1 平成21年度 キャリアサポートガイダンス
『職種紹介学内企業セミナー(薬業関連企業、病院、薬局)』学生アンケート集計結果

現在の進路希望状況について



企業・病院・薬局を選ぶ基準について



3. 卒業3年後の就職動向アンケート調査結果報告 平成17年度卒業生(53期生)調査結果

本学ではますます多様化・高度化する薬業界の動向やニーズを的確に把握し、学生の進路・就職指導に反映させるため、平成12年度(48期生)より卒業後3年を経過した本学OB・OGの方々のご協力を得て、卒業3年間の就職状況に関するアンケート調査を実施しています。そこで本年も、53期生にお願いして同じ調査を実施さ

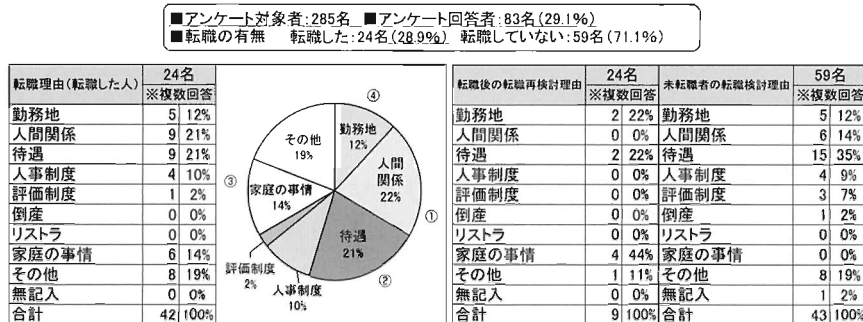
せていただきました。

本調査によって、アンケート回答者53期生83名(29.1%)中、転職者は24名で、28.9%(52期生:23.1%)の方が転職しているという結果が得られました。これは全国大学新卒者の3年後の動向(約35%)と比較して、少なくなっています。

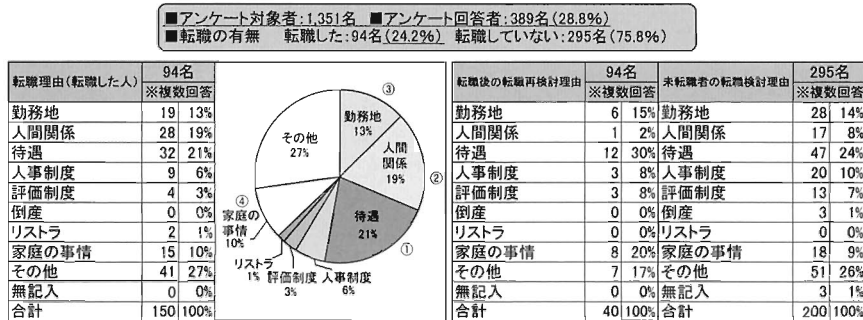
また、5年間のアンケート結果合計は1,351名で、回答者数は389名(28.8%)になりました。(表2)

表2 卒業3年後のアンケート調査(転職理由等)

平成17年度卒



全体(5年間)合計



5年間継続実施した卒業3年のアンケート調査結果では、転職理由として、1.待遇、2.人間関係、3.勤務地、4.家庭の事情となっています。平成17年度卒業生の転職理由も、5年間の平均とほぼ同様の傾向になりました。

今回の結果から、キャリアサポート課としてはキャリアサポートガイダンス、職種紹介学内企業セミナー内容の充実、きめ細やかな職種別情報提供の必要性が示唆さ

れ、今後さらに、個人面談を充実させて学生一人ひとりの興味、能力、価値観に応じた進路・就職支援を強化していきたいと考えています。

最後になりましたが、本調査にご協力いただきました平成17年度卒業生(53期生)の皆様、および本学同窓会事務局の方々に心から御礼申し上げます。

図書課

1. 『新着図書コーナー』の拡充について

図書館では従来から新着図書については、所定の閲覧室の書架に配架する前に、新着図書の入荷を周知するとともに利用者の便宜を図るため、3階「新着図書コーナー」に一定期間仮置きしてきました。

しかし最近、新着図書の入荷が増加傾向にあり同コーナーが手狭になってきたことや、図書館利用者アンケートにも「もう少し長い期間、新着図書コーナーで閲覧できるようにしてほしい」という要望があったことから、その対策を検討した結果、平成21年9月から学術洋雑誌の電子ジャーナル化に伴う同雑誌展示架の空きを有効利用して新着図書を展示することにしました。

新着図書コーナーの拡充により、展示期間を長く設定することや展示架の上で図書を閲覧することが可能ことから、利用者から大変好評を得ています。今後とも同コーナーを大いに利用してください。



2. 『購入希望図書』のリクエストについて

図書館に備えてほしい図書等をリクエストするには、①②の「購入希望図書」による方式と③の「図書館に関する意見・要望」による方式があります。

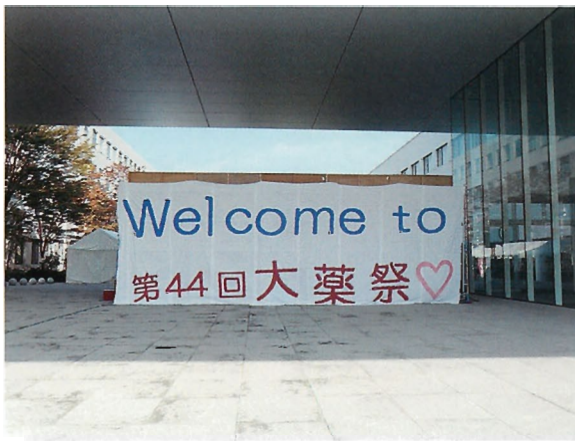
多数のリクエスト、意見・要望をお待ちしています。

- ①「購入希望図書」申込サイト(図書館ホームページ)を利用
 - ・申込者名、資料の著者名、書名、出版社名、価格を記入して送信ボタンをクリックする。
- ②「購入希望図書」申込用紙(図書館)を利用
 - ・申込者名、資料の著者名、書名、出版社名、価格を記入してアンケートボックスに入れる。
- ③「図書館に関する意見・要望」記入用紙(図書館)を利用
 - ・所蔵資料(図書、雑誌、視聴覚資料、電子ジャーナル等)、サービス(館内施設・設備、開館時間等)に関する意見・要望を記入してアンケートボックスに入れる。

最近の主な『新規購入図書』案内

著者名	書名	出版社名
薬学教育研究会(編)	C B T 対策と演習(衛生薬学、機器分析、生化学、薬剤学)	廣川書店
浜崎直孝	薬学コアカリ対応病態・薬物治療概論	丸善
井手口直子	実践ファーマシューティカルコミュニケーション	日経BP社
辻 二郎	有機合成のための遷移金属触媒反応	東京化学同人
寺田 弘	くすりの効き方・効かせ方	オーム社
永井博弐	もうアレルギーに苦しめない	薬事日報社
岸本暢将	外来診療コミュニケーションが劇的に上手くなる方法	羊土社
薬学ゼミナール(編)	薬剤師国家試験対策 2010(全8冊)	薬学ゼミナール
伊坂幸太郎	あるキング	徳間書店
東野圭吾	新参者	講談社
村上春樹	1Q84(BOOK 1、2)	新潮社
青木新門	納棺夫日記	文春文庫
海堂 尊	極北クレイマー	朝日新聞出版
白旗史朗	北アルプス礼讃(白旗史朗写真集)	新日本出版社

正門から続く上り坂の途中から、ゆるやかな石段を右上に歩を刻む。堂々とした四角いゲートを抜けると、そこは明るいスクウェアになっている。きれいに刈り揃えられた緑の芝生が目にはやさしい。白亜に輝く新学舎と落ち着いたベージュの旧学舎が、芝生を挟んで東西に対峙している。真っ直ぐ北に貫く広い通路の向こうの木立は、ようやく色づき始め、大樹の根元を常緑が覆っている。移植して間がないせいで幹と枝ばかり目立つ。数年もすればこんもり葉をつけるだろう。茶のベンチが通路脇に並ぶ。ああ、ここは癒しの空間なのだ。



今年度の大薬祭は、新装なったキャンパスで初めての学園祭で、10月30日(金)から11月1日(日)まで開かれた。今回は、季節に因んで、「Trick or Treat! ~真っ昼間のハロウィン~」がテーマである。女性の実行委員長が、黄色いカボチャの衣装を纏って、忙しそうに走り回っている。まったく元気なものだ。そう言えば、女性の実行委員がやけに目立つ。若い人達の間では、男女の区別など、とっくになくなっているようだ。

中庭と体育館前の通路に、テントがずらりと並ぶ。いくつあるのか、ゲームや食べ物の模擬店が連なっているのだ。運動クラブと文化クラブが、とりどりに趣向を凝らしてお客さん呼び込んでいる。開催1週間ほど前から、学生諸君がひっきりなしに研究室にやってきて、ノルマがあるのか、模擬店の券を何枚も押し売りしていっ



た。少しは元を取ろうと、昼食は模擬店で済ませることにして、欲張って夕食分も腹一杯食べた。結構な味なのだが、そうそう食べられるものではない。食べ過ぎて、後悔しきりだった。

ゲート下のスペースは、200畳ほどもあろうか、随分と広い。そこに野外ステージがしつらえられた。今回から雨の心配をしなくてよくなったのは、ありがたいことだ。ゲームやコンテスト、園児の発表会など、学生から一般の男女に至るまで、全員参加型のイベントが繰り広げられた。ダンスコンテストで、若い男女や外国人の小学生まで出演して技を競い、激しく踊り狂う姿は玄人ほだいで、見ていて本当に楽しかった。これには時代を感じた。一昔前まで、ギターを弾ければ格好良かったが、今は嗜好が違っているようだ。



屋内では、科学に関心を持ってもらおうとの企画で、科学マジックや小学生向けの科学実験教室が開かれ、大学会館では文化系クラブの発表会が数々開かれていた。体育館のステージでは、文化クラブによる音楽演奏やダンスの発表会があった。ファッションショーさながらに、クラブを単位に、女装した男子学生が馬鹿馬鹿しさを、着飾った女子学生が愛らしさを競った。遠目に見物させてもらったが、私の秘かな楽しみが奈辺にあったか、打ち明けるまでもないだろう。



大葉祭では、芸能人を招いての呼び物が恒例になっている。10月はじめ実行委員が研究室にやってきて、「教員と学生が出演する吉本新喜劇をやるので、出演してください」と言う。台詞もあると言うので、「柄に合わないし、恥ずかしいから、勘弁してくれ」と断ったが、「みんなが喜ぶし(?)、一生の思い出になりますよ」と、女子学生にしつこく煽てられた。ついその気になって引き受けたものの、気の弱い私は、その日まで心配で暗い毎日を送らねばならなかった。

いよいよ当日、場面はたこ焼き屋の屋台である。家出した息子を尋ね歩く若井みどりさん(母親役)に、「やくざ」になった息子が「やくざいし」だと誤魔化したのが、嘘がばれて改心するという喜劇である。悩みを持つ有志学生8人と永田先生共々、出演と相成った。間近に見る池乃めだかさん(占い師役)は、ネクタイの丈ほどに小さく、長身の永田先生との対照が笑いを誘った。川畑泰史さん(たこ焼き屋役)の顔は、ふくれたフグのように異形で、やたら大きかった。本音を言うと、吉本芸人と舞台上で派手にやり合いたかったのだが、出演が短くて、ちょっと物足りなかった(ウソ)。



最初の2日間は好天に恵まれた。最終日は、昼頃から雨との予報で、そのとおりになった。芝生のグラウンドで店開きしていたフリーマーケットは早々に店じまいで、閑散とした濡れた芝生が切なげだった。その他のイベントは、すべて予定どおりに行われたようだ。大葉祭の最後は、男子学生が女子学生を喜ばせる恒例の薔薇祭である。一昔前に比べ、最近の学生は行儀が良くなり、品位の点でかなり改善されたようだ。



初めての試みとして、受験生のみなさんに学生生活の楽しさを知ってもらおうと、大葉祭に合わせて、31日にミニオープンキャンパスが開かれた。同窓会のテントがあり、同窓会長をはじめ、役員や卒業生の方々においした。大葉祭に合わせたホームカミングデーで、同窓生が交歓し、母校との絆を深めるのが目的とかで、薬学部の実況について、学長の講演があるとのことだった。母校を心の古里と慕い、わざわざ足を運んで頂けるのは、本当にありがたいことだ。

同じ日に、5大学による広域大学連携のシンポジウムが開かれた。お堅い学会が学園祭と同時進行とは、妙な取り合わせである。学会場の斜め下が野外ステージで、賑やかなイベントが続いた。学会関係者から、音量を下げてくれないかとの注文があったらしい。しかしである、本日の主役は学生なのだ。いくら偉い筋から言われようが、応じるわけにはいかなかった。薬用植物園では、一般市民に公開して、植物の説明が行われた。

大葉祭期間中の3日間は、リラックスした近所の老若男女がキャンパスに溢れ、歩行者天国さながらの風情であった。かくて大葉祭はつつがなく終了した。学友会の執行部と実行委員の皆さんが、忙しい授業の合間に準備に精出し、裏方に徹して大葉祭を支えてくれたからである。立派に成し遂げた皆さんの労を、ねぎらいたい。大葉祭の開催を通じて、皆さんは人生の糧になる大きな何かを身につけたに相違ない。



最後になりましたが、資金面で援助をいただいた育友会、同窓会をはじめ各種団体各位に対し、この場を借りて心よりお礼申し上げます。

チョウセンアサガオ *Datura metel* L.

「おてもや〜ん あんたこの頃 嫁入りしたではないかいな」で始まる熊本民謡に出てくる「玄白茄子のイガイガどん」とは、チョウセンアサガオの果実のことである。果実に鋭い刺が多いため、このように歌われたのであろう。おてもやんは、このようなイガグリ頭の野暮ったい男は趣味ではないと歌っている。この植物は、「解体新書」の著者の一人、杉田玄白が広めたというだけあって、江戸時代に薬用のため栽培されていた。後年、献身的な、その妻と母親との確執をも含めて描かれた有吉佐和子の小説で有名になった華岡青洲が、世界ではじめて全身麻酔による乳がんの手術に成功したときに用いたのは、この植物の花である。薬学のみならず、医学の分野でも重要な植物と認識されており、現在の日本麻酔科学会のシンボルマークに、この花をデザインしたものが採用されている。

このチョウセンアサガオ (*Datura metel* L. (*D. alba* Nees)) は、東南アジア原産のナス科の一年草である。名前に朝鮮と付くが朝鮮原産ではなく、朝顔と付くが朝顔(ヒルガオ科)の仲間でもない。渡来植物でその花が朝顔に似ているという意味であろう。茎は直立し、多くの枝にわかれ淡緑色で高さ1mほどとなる。葉は長い柄をもち、広卵型で先はとがり、全縁または深く切れこんだ少数のきょ歯をもち、夏から秋にかけて、葉のわきに短い花柄をもった大きな白色の花を開く。花冠は漏斗形で長さ10~15cm、筒部は長く、先は浅く5裂し、裂片の先端は尾状にとがる。果実は球形のさく果で、径2.5cm、太く短い多数の刺をもち、不規則に割れ、多数の灰色の種子をだす。葉を曼荼羅葉と呼んで喘息の薬や鎮痛鎮痙鎮咳薬とするが、猛毒である。成分として、他の一部のナス科植物同様、アトロピンやスコポラミン等のトロパンアルカロイドを全草に含有している。これらの成分はともに副交感神経を遮断するが、中枢神経に対する作用は異なる。アトロピンは中枢神経に興奮的に働くが、スコポラミンは逆に抑制的に働く。興味深いことに、チョウセンアサガオの花では、葉と異なり、スコポラミンの含量がアトロピンのそれを大きく上回っている。青洲が麻酔の目的で花の部分を用いたのは正に理にかなっている。実際、中国では乾燥した花を洋金花と呼び、麻酔に使う。

一方、残念なことであるが、スコポラミンの毒作用を利用し、宗教的な洗脳や自白剤としても使われるという。映画「ナパロンの要塞」ではグレゴリーベックやアンソニークインの仲間がナチスに捕らわれ、スコポラミンを打たれて自白を強要される場面が描かれている。

類縁の植物として、ケチョウセンアサガオ (*D. innoxia*)、洋種チョウセンアサガオ(藤色: *D. stramonium* var. *tatula*、白花: *D. stramonium* var. *stramonium*)、アメリカチョウセンアサガオ (*D. meteloides*)、木本性のキダチチョウセンアサガオ (*D. arborea*、近年 *Brugmansia* 属に変更、別名 エンジェルトランペット) などが知られている。それぞれ形態学上の特徴があり、さく果と種子の形態でも区別できる。これらの植物はいずれも有毒で、例えば、葉の汁が目に入ると、散瞳して目が見えなくなるほど毒性が強い。近年野生化して、しばしば荒地で見かけたり、知らずに鉢栽培されているのに出くわすことがある。また、葉、根、種子の誤食による中毒が頻発しており、つぼみをオクラと、また種子をゴマと間違えて食べた事例が報告されている。これらの植物の取扱いには細心の注意が必要である。

薬用植物としての重要性や華岡青洲の偉業を通しての医学分野での貢献だけでなく、有用な薬用植物も使い方次第で深刻な健康被害を引き起こす一つの例としても、チョウセンアサガオを記憶に留めておきたいものである。(薬用植物園長 三野 芳紀)



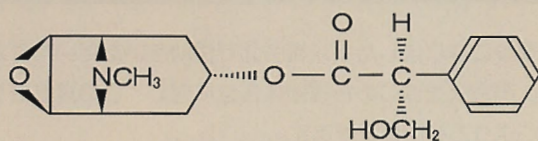
チョウセンアサガオの花
(写真提供 瀬川隆夫氏)



チョウセンアサガオの果実



植物図「牧野植物図鑑」より



スコポラミン

発行
大阪薬科大学
広報委員会

〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4丁目20番1号
TEL (072) 690-1000 (代表)
FAX (072) 690-1005 (")
URL <http://www.oups.ac.jp>